

取組実績については、以下のとおり

i)住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
戸別訪問の実施件数	10	5	50	0	2	10
ダイレクトメールの送付件数	200	150	600	55	40	40

ii)耐震診断実施者に対する耐震化促進
資料編のとおり

iii)改修事業者の技術力向上

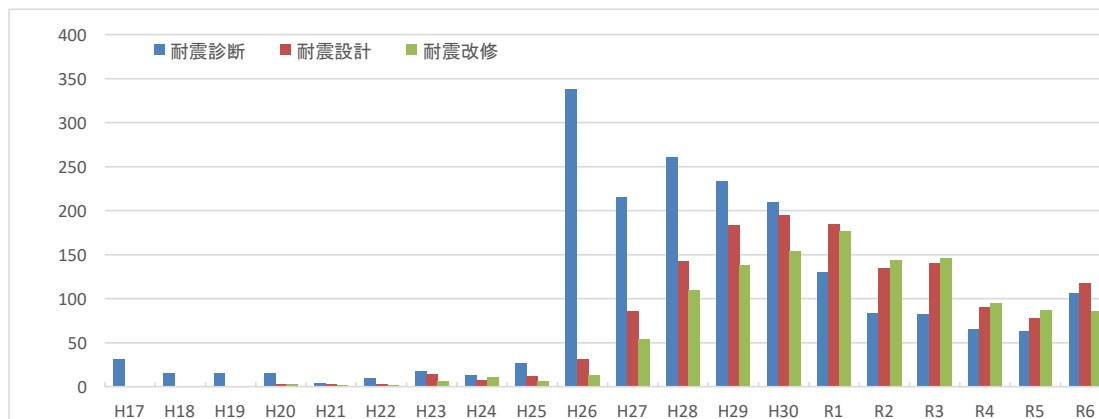
	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	3	3	4
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	2 (オンライン)	9月～2月 (オンライン)	—	2(対面)、9月～2 月(オンライン)	2(対面)、11月～2 月(オンライン)	2(対面)、9月～2 月(オンライン)
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	—	1	2	1	2	2
耐震改修技術学校	—	—	—	1	2	2
耐震補強工事実務講習会	—	—	—	—	—	—

iv)一般への周知普及

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
広報誌等への掲載	6月	6月	8月	8月	8月・1月	8月・1月
庁舎内パネル展示	10月	12月	1月	12月	1月	1月

○耐震改修の実績

(棟数)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
耐震診断	84	83	66	63	106	
耐震設計	135	140	90	78	118	
耐震改修	144	146	95	87	86	54



○前年度の取組内容

戸別訪問として、担当職員による中間検査時の近隣住宅へのアプローチや、問い合わせ先へ訪問して説明を実施。その他、町広報誌やホームページでの啓発を行った。また、1月には10日間程度庁舎内ホールでの耐震ブースでの啓発を実施している。

耐震診断済みの方へ、設計以降へ進んでいただくため、DMIによる啓発も行った。

○見えてきた課題

過去に診断を実施して、設計に進んでいない方が相当数いるため、DM等により啓発を行い、設計・改修に繋げていく必要がある。

診断・設計・改修ともに徐々に実施ペースが落ちてきている。

○今年度の取組内容

広報誌・HP・DM・耐震ブース等による啓発を実施予定。

耐震事業全般(家具転倒防止・ブロック塀対策等含む)についての啓発や、住宅耐震実施時に家主や工務店に直接説明を行い耐震改修工事に併せて家具固定を行うなど、住宅耐震のみならず耐震対策全般についての取り組みを実施する。

